

## 1 概要

行政評価は、施策評価・事務事業評価・事務事業計画に分けられ、事務事業計画は予算措置後に今年度の事業の進め方を事前に計画し、公表するものであり、施策評価及び事務事業評価は、前年度実績や決算を基に事後評価するものです。施策評価とは、第5次府中市総合計画後期基本計画における96施策を関連部課で評価するもので、事務事業評価とは施策に構成される事業を、事業の実績や効果等を踏まえて評価するものです。

なお、制度の開始時期は、事務事業評価を平成12年度に導入しており、施策評価は行政評価をシステム化した平成21年度に試行実施し、平成22年度から本格実施しています。

## 2 果たすべき役割

各部・課において、所管する施策・事務事業の今後の方向性を示すものであり、それを予算編成に繋げていくものです。また、予算編成等の市内部で使うだけの資料ではなく、市が実施する施策や事務事業には、どのような課題があり、その解決に向けてどのように事業を進めていくべきなのかを評価結果として公表することで、市民への事業経緯を説明するためのツールとして、今後も積極的に公表するべきものだと考えます。

## 3 活用

### (1) 予算編成

予算編成において、新規・レベルアップ・見直し・廃止をする事業については、事務事業及び施策の評価結果を必ず記載するようにしており、政策的に判断する際に活用している。

### (2) 市民への周知

市民に市の事業を説明する重要なツールになっていると考えており、決算特別委員会においても議員が公表された事務事業評価シートを基に質問している例もあり、浸透してきていると考えています。

### (3) 事務事業点検

事務事業点検の際には、この行政評価制度の事業単位により点検を実施しています。

## 4 問題点

### (1) 主管課評価

施策評価では構成される事務事業の重要度・優先度を評価しており、施策内での相対評価となっているものの、事務事業評価は主管課における絶対評価であるため、全庁横断的な事業にはなっておらず、主管課が希望する事業の方向性が、市全体としての方向性とは必ずしも一致せずに、優先的に進めるべき事務事業ではないと判断されることもあります。このことから、主管課以外の視点による事務事業評価も必要であると考えられます。

### (2) タイムラグ

施策評価・事務事業評価を決算終了後に実施することから、予算編成時期における事業の進め方と差が生じる場合があります。このため、予算編成時に新たな課題として生じたものは、必ずしも行政評価の結果とは一致しない場合があります。

### (3) 事業単位の細分化

1つの事務事業に複数の予算事業を体系付けることが想定されていますが、事務事業に1つの予算事業が体系づけられ、事務事業＝予算事業となっている事業もあり、詳細な評価結果とはなっているものの、情報の精査が必要だと考えられます。

## 5 今後の役割

予算編成との連携を更に深めていくとともに、平成26年度から計画期間となる第6次総合計画の基本計画には、各施策に主要な事務事業を掲げ、それを行政評価システムにおいて進行管理する予定であり、これまで以上に、総合計画と行政評価制度が密に連携しなければならないと考えております。

# 事務事業計画シート

記載年月	平成24年3月
対象年度	平成24年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	長寿祝い訪問事業					事務事業コード	10110300
概要	節目となる年齢に「祝い金」「祝い品」を支給する						
総合計画	基本目標	安心でいきいきと暮らせるまちづくり			予算科目	款	15 民生費
	基本施策	3	高齢者サービスの充実			項	20 高齢者福祉費
	施策	11	高齢者の生きがいづくりの支援			目	15 生きがい対策費
主管部課名	福祉保健部 高齢者支援課						
制度上の実施主体	市	会計区分	一般会計		事業類型	ソフト事業（任意）	
		事業実施計画	—		事業実施期間	昭和41年度～	
根拠／関連法令	府中市長寿祝い金等支給事業要綱				市関連計画名	第5次府中市総合計画後期基本計画	

## 2 事務事業の目的

対象	当該年度の6月30日以前から居住し、9月30日現在、満77歳・88歳・101歳以上になる者。また、誕生日の属する月の3ヶ月前から引き続き居住し、当該誕生日において満100歳になる者。
手段・方法	満77歳・88歳に対して「祝い金」を民生委員による訪問等の方法により支給する。また、満100歳になる者及び満101歳以上に対しては、「祝い金」を市職員等が訪問し、支給する。
意図	高齢者に対して祝い金を支給し、市として高齢者の長寿を祝う事により、敬老に関する意識啓発を図るとともに、高齢者に対する福祉増進の一助とする。また、民生委員の訪問などの方法により、地域での見守り活動としての機能を果たす。

## 3 事業計画

H20年度	H21年度	H22年度
▼お祝い品：1,724人、お祝い金：4,629人	▼99歳と100歳を統合し、100歳を迎える誕生日に訪問し、祝い金・記念品を贈呈することとする。 ▼お祝い品：1,830人、お祝い金：4,581人	▼お祝い品：1,817人、お祝い金：5,037人
H23年度	H24年度	H25年度
▼80歳と90歳に対して支給するお祝い品を廃止し、代わりにお祝い金を支給する。 ▼お祝い金：7,204人 ▼お祝い品：38人 ○計画の見直し 今後の高齢者人口の伸び率等を想定しつつ、対象者、事業実施方法等に係る検討を行い、計画の見直しを実施していく。	▼満70歳、80歳及び90歳に対するお祝い金を廃止する。また、101歳以上に対するお祝い金の額を減額するとともに、100歳のお祝い品の支給を廃止する。 ▼お祝い金：2,788人 ○計画の見直し 引き続き高齢者の長寿化や人口の伸び率、また、社会情勢や近隣市の状況等を総合的に考慮し、計画の見直しを実施していく。	

## 4 事業費

(単位：円)

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
(事業費)						
当初予算額	65,601,000	66,360,000	72,024,000	77,019,000	38,577,000	
国庫支出金	0	0	0	0	0	
都支出金	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	65,601,000	66,360,000	72,024,000	77,019,000	38,577,000	

## 5 指標

指標名	基準値 (単位)	計画値						目標値・ 目標年度
		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	
祝い品贈呈人数	1,687	1,724	1,830	1,817	38	0	0	1,958
	人							平成25年度
祝い金贈呈人数	4,499	4,629	4,581	5,037	7,204	2,788	2,955	5,431
	人							平成25年度

6 構成事業一覧

(単位：円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	当初予算額	
							H23年度	H24年度
1	01	15	20	15	0699000	長寿祝い訪問事業費	77,019,000	38,577,000
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
合 計							77,019,000	38,577,000

# 事務事業評価シート

記載年月	平成24年6月
対象年度	平成23年度

## 1 事務事業の概要

事務事業名	長寿祝い訪問事業				事務事業コード	10110300
概要	節目となる年齢に「祝い金」「祝い品」を支給する					
総合計画	基本目標	安心でいきいきと暮らせるまちづくり		予算科目	款	15 民生費
	基本施策	3	高齢者サービスの充実		項	20 高齢者福祉費
	施策	11	高齢者の生きがいがづくりの支援		目	15 生きがい対策費
主管部課名	福祉保健部 高齢者支援課					
制度上の実施主体	市	会計区分	一般会計		事業類型	ソフト事業（任意）
		事業実施計画	—		事業実施期間	昭和41年度 ~
根拠/関連法令	府中市長寿祝い金等支給事業要綱			市関連計画名	第5次府中市総合計画後期基本計画	

## 2 事務事業の目的

対象	当該年度の6月30日以前から居住し、9月30日現在、満70歳・80歳・77歳・88歳・90歳・101歳以上になる者。また、誕生日の属する月の3ヶ月前から引続き居住し、当該誕生日において満100歳になる者。
手段・方法	満70歳・77歳・80歳・88歳・90歳に対して「祝い金」を民生委員による訪問等の方法により支給する。また、満100歳になる者に対しては「祝い金と祝い品」、満101歳以上に対しては「祝い金」を市職員等が訪問し支給する。
意 図	高齢者に対し祝い金等を支給し、市として高齢者の長寿を祝う事により、敬老に関する意識啓発を図るとともに、高齢者に対する福祉増進の一助とする。また、民生委員の訪問などの方法により、地域での見守り活動としての機能を果たす。

## 3 事業計画・実績

H22年度計画	H23年度計画	H24年度計画
▼お祝い品：1,817人、お祝い金：5,037人	▼80歳と90歳に対して支給するお祝い品を廃止し、代わりにお祝い金を支給する。 ▼お祝い金：7,204人 ▼お祝い品：38人  ○計画の見直し 今後の高齢者人口の伸び率等を想定しつつ、対象者、事業実施方法等に係る検討を行い、計画の見直しを実施していく。	
H22年度実績	H23年度実績	H24年度実績
▼お祝い品：2,017人、お祝い金：5,003人	▼お祝い品：28人（100歳のみ）、お祝い金：7,142人	

## 4 事業費・人件費等の推移

（単位：円）

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
（事業費）						
当初予算額	65,601,000	66,360,000	72,024,000	77,019,000	38,577,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	65,601,000	66,360,000	72,024,000	77,019,000	38,577,000	0
予算現額	66,191,000	64,707,000	72,024,000	77,019,000	0	0
決算額	65,673,401	64,542,603	71,256,149	73,074,314	0	0
執行率	99.2%	99.7%	98.9%	94.9%	0.0%	0.0%
（人件費）						
職員数	1.10	1.25	1.00	1.40		
職員人件費	9,849,321	11,686,835	8,741,770	11,362,333		
嘱託員数	0	0	0	0		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
（間接経費）						
間接経費	539,533	487,527	405,324	564,210		
総コスト	76,062,255	76,716,965	80,403,243	85,000,857	0	0

5 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移							目標値・ 目標年度
		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度		
祝い品贈呈人数	1,687	計画値	1,724	1,830	1,817	38	44	51	1,958
	人	実績	1,720	1,826	2,017	28	-	-	平成25年度
祝い金贈呈人数	4,499	計画値	4,629	4,581	5,037	7,204	7,925	8,718	5,431
	人	実績	4,612	4,513	5,003	7,142	-	-	平成25年度

**指標の分析**

80歳、90歳の祝い品は祝い金の支給に変更した。また、祝い金の対象者については引き続き漸増傾向にある。

6 現状分析

設 問	分 析			
	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要性は低い	1
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	1
市民・団体・議会等から要望や要請がある事業である。	多くの要望等がある	要望等がある	要望等はない	2
他の事業に優先して実施すべき緊急性の高い事業である。	緊急性が高い	緊急性がある	緊急性は低い	1
「施策」の目的を実現するために有効な事業である。	非常に有効である	有効である	あまり有効性はない	1
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
サービス水準を落とさずにコスト削減や効率的運営はできない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	2
事業の対象者全員が公平にサービスを受けることができる。	公平に受けられる	ほぼ公平に受けられる	特定の対象に偏っている	1
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	1

7 事務事業の評価

これまでの主な取組と成果												
<p>毎年該当年齢の方に金品を授与しているが、高齢者サービスとしての必要性、高齢者の生きがいづくりの支援という施策に対し、効果について適切な指標が存在しないため、事業の成果が非常にとらえにくいものとなっており、かつ、どの程度施策の目的に寄与しているのかも把握できなくなっている。</p>												
今後の課題（未達成の課題等）												
<p>祝い品、祝い金ともに対象者数が増加傾向にあるため、サービスレベルを維持するための費用が増大することは避けられないうえに、高齢者の生きがいづくりにどの程度効果があるのか測定できるようにする必要があるが、非常に困難である。</p>												
今後の展開（具体的方策等）												
<p>ひっ迫する市財政状況を踏まえ、平成24年度から対象年齢等の見直しを行うこととする。また、平成25年度以降についても、引き続き社会情勢や多摩地域各自治体の状況などを踏まえ、今後の事業の在り方について検討していくこととする。</p>												
総合評価（今後の方向性）												
<table border="1"> <tr> <td>A 重点化・拡大して継続</td> <td rowspan="4">C</td> <td rowspan="4">これまでの対象年齢から70歳、80歳及び90歳を除外した。また、101歳以上のお祝い金額を減額した。平成25年度以降についても、社会情勢や多摩地域の各自治体の状況等を踏まえ、適宜見直しを検討していく。</td> </tr> <tr> <td>B 現状のまま継続</td> </tr> <tr> <td>C 見直して継続</td> </tr> <tr> <td>D 休止・廃止等</td> </tr> </table>	A 重点化・拡大して継続	C	これまでの対象年齢から70歳、80歳及び90歳を除外した。また、101歳以上のお祝い金額を減額した。平成25年度以降についても、社会情勢や多摩地域の各自治体の状況等を踏まえ、適宜見直しを検討していく。	B 現状のまま継続	C 見直して継続	D 休止・廃止等	<table border="1"> <tr> <td>1 大幅な見直しは必要ない</td> <td rowspan="4">1</td> </tr> <tr> <td>2 見直しには法令等の改正が必須</td> </tr> <tr> <td>3 見直しの必要性はあるが時期尚早</td> </tr> <tr> <td>4 現状では見直しが不可能</td> </tr> </table>	1 大幅な見直しは必要ない	1	2 見直しには法令等の改正が必須	3 見直しの必要性はあるが時期尚早	4 現状では見直しが不可能
A 重点化・拡大して継続	C			これまでの対象年齢から70歳、80歳及び90歳を除外した。また、101歳以上のお祝い金額を減額した。平成25年度以降についても、社会情勢や多摩地域の各自治体の状況等を踏まえ、適宜見直しを検討していく。								
B 現状のまま継続												
C 見直して継続												
D 休止・廃止等												
1 大幅な見直しは必要ない	1											
2 見直しには法令等の改正が必須												
3 見直しの必要性はあるが時期尚早												
4 現状では見直しが不可能												
<table border="1"> <tr> <td>1 見直し・縮小</td> <td rowspan="3">1</td> </tr> <tr> <td>2 他事業との整理・統合</td> </tr> <tr> <td>3 完了</td> </tr> </table>	1 見直し・縮小	1	2 他事業との整理・統合	3 完了								
1 見直し・縮小	1											
2 他事業との整理・統合												
3 完了												

8 構成事業一覧

(単位：円)

1	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H23年度		H24年度
							当初予算額	決算額	当初予算額
1	01	15	20	15	0699000	長寿祝い訪問事業費	77,019,000	73,074,314	38,577,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							77,019,000	73,074,314	38,577,000

# 施策評価シート

記載年月	平成24年6月
対象年度	平成23年度

## 1 施策の目的等

施策名	011	高齢者の生きがいがづくりの支援					
総合計画	基本目標		安心でいきいきと暮らせるまちづくり			主担当部課名	福祉保健部 高齢者支援課
	基本施策	03	高齢者サービスの充実				
施策の目的	高齢者の生きがいがづくりに関する事業や活動を実施している団体を支援することにより、高齢者が生涯にわたって元気でいきいきと暮らせるように、高齢者の社会参加や健康づくりを推進します。						
施策を取り巻く現況や市民ニーズ等	高齢者がいきいきと暮らせるよう、各種生きがいがづくり事業の実施や支援を行っているが、毎年行っている市政世論調査において、高齢者対策の更なる充実を求める声は多く、また、そのニーズも多様化してきているため、これらの市民の声を的確に把握し、事業展開や支援方法について検討していく必要が求められている。						

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	169,278,000	164,755,000	164,616,000	157,637,000	113,221,000	
国庫支出金	0	0	0	0	0	
都支出金	28,931,000	29,107,000	26,979,000	24,492,000	24,542,000	
市債	0	0	0	0	0	
その他	710,000	710,000	710,000	4,285,000	3,240,000	
一般財源	139,637,000	134,938,000	136,927,000	128,860,000	85,439,000	
予算現額	169,151,000	164,464,000	164,616,000	157,637,000	0	
決算額	163,700,086	162,459,002	153,165,640	144,787,710	0	
執行率	96.8	98.8	93.0	91.8	0.0	
<b>(人件費)</b>						
職員数	5.30	13.19	6.95	5.25	0.00	
職員人件費	47,455,818	123,319,483	60,755,302	42,608,748	0	
嘱託員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	2,599,563	5,144,379	2,816,996	2,115,787	0	
総コスト	213,755,467	290,922,864	216,737,938	189,512,245	0	

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移						H25年度 目標値
			H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	
老人クラブの加入率	14.5	実績	13.1	12.5	11.4	11.1	-	-	14.6
	%	達成率	89.7	85.6	78.1	76.0	0.0	0.0	
ハイキング大会への参加者数 (17年度)	223	実績	227	180	127	0	-	-	250
	人	達成率	90.8	72.0	50.8	0.0	0.0	0.0	
元氣一番まつりの参加者数 (20年度～)	11,500	実績	6,800	20,000	32,000	0	-	-	15,000
	人	達成率	45.3	133.3	213.3	0.0	0.0	0.0	
		実績							
		達成率							
		実績							
		達成率							
		実績							
		達成率							

**指標の分析**

老人クラブの加入率については減少傾向にあるが、年々増え続ける高齢者人口に対して、加入率減を防止するため、老人クラブと連携し加入者の増加を図っていききたい。また、その他の健康増進事業については、さらに参加率を増加させるように進めていききたい。

**4 施策の評価****これまでの主な取組と成果**

高齢者の環境衛生の向上と生活意欲及び心身の健康増進を図るため、ことぶき理髪・美容事業、ことぶき入浴事業、高齢者等保養施設利用助成事業を行った。また、ふちゅう元気一番まつり、生きがい発見事業、敬老の日記念大会、長寿祝い訪問事業、敬老事業を昨年に引き続き実施した。

さらに、文化・スポーツ・ボランティア活動を行っている老人クラブに補助金を交付するなどし、生活感の充実、福祉の向上に努めてきた。

**今後の課題**

高齢者が自らの経験や技能を地域に還元し、地域に貢献し、生きがいを持って地域活動を行うことの出来る環境づくりが今後ますます重要となってきている。地域の施設や資源を活用して、身近な地域での活動の場を確保し、多様な活動の支援などのための施策を展開していく必要がある。

**今後の展開**

高齢者が培ってきた知識や経験を活かし、地域社会の担い手として活躍できる場の充実を図り、元気な高齢者の社会参画を支援していく。



## 5 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H23年度		H24年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 入浴助成事業	20		3,847,000	3,017,350	3,591,000	自宅に風呂の設備がない高齢者世帯に対して市内公衆浴場の入浴券を支給する。	B	3
2 ことぶき入浴事業	50		1,215,000	902,200	1,013,000	高齢者の生きがい対策事業として府中市浴場組合に対して補助を行う。	B	3
3 長寿祝い訪問事業	20		77,019,000	73,074,314	38,577,000	節目となる年齢に「祝い金」「祝い品」を支給する	C	1
4 敬老会運営事業	20		9,305,000	8,880,123	9,564,000	70歳以上の市民を対象に式典、介護予防、及びアトラクションを含むイベントを実施する。	B	3
5 ことぶき理美容事業	20		16,554,000	12,280,873	15,783,000	理髪・美容の割引券を給付	B	3
6 在宅高齢者世帯保養事業	20		4,617,000	4,043,735	1,500,000	一人暮らし高齢者に対する保養機会の提供、地域交流機会の提供	C	1
7 老人クラブ補助事業	50		37,107,000	37,090,115	36,617,000	老人クラブが行う活動に対して補助を行う。	B	1
8 補助金 高齢者等保養施設利用助成事業費	20		7,973,000	5,499,000	6,576,000	高齢者等が保養施設を利用する際に宿泊補助を行う。	B	3
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			157,637,000	144,787,710	113,221,000			

構成事務事業 の適当性	
----------------	--